



11 月 6 日（月）、英語と生物の教科横断型の授業を 3 年生のコミュニケーション英語のすべての講座 5 時間の授業で行いました。英語は、本校英語科の竹松ゆかり先生と前田まきこ先生が、生物部分を伊那北高校理科教諭の倉石典広先生が行いました。

教 科横断型授業は、数年前から伊那北高校で取り組まれており、今回は学校横断というこれまでにない形態で、倉石先生が本校に来ていただいて授業を行いました。

英語のテキストに書かれているミツバチの敵に対する防衛本能で「熱殺蜂球」のことが書いてあり、このことについて生物学的なアプローチで探究的に考えていく授業を実践しました。

先月も英語と世界史の教科横断型授業を本校の職員で行っており、今回は第 2 弾ということになります。

この授業では、竹松教諭の思いに倉石教諭が賛同して実現しました。授業の最初は英語でテキストの内容、授業の趣旨を説明し、倉石教諭の「なぜ」と思うことからの自分の仮説を速いテンポでシェアし続け、仲間と意見交換していく授業でした。

授業の最後は、この授業の中で大事にしてきた 3 つを確認しました。

- 1 「よく見る」
- 2 「なぜ」と思う
- 3 「共有する」

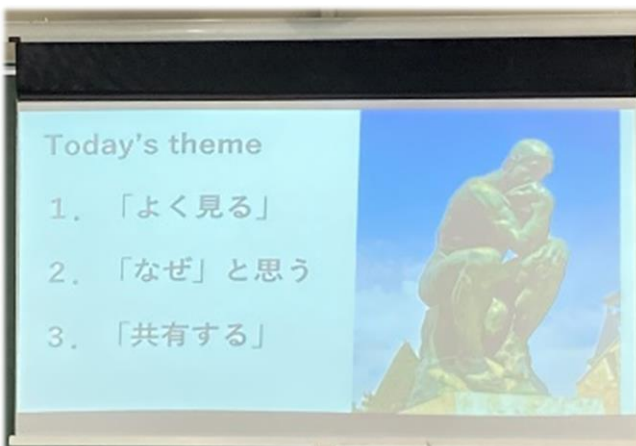
学ぶ姿勢としてとても大事な事柄でまとめていました。



前田教諭が英語でテキストの説明をした後倉石教諭にバトンタッチ



熱殺蜂球の図を示し解説する倉石教諭と助言する竹松教諭



私は、授業を見ていて、新鮮で興味深く、こういった取り組みが広がっていくことを期待したいと思いました。



スズメ蜂の巣を見せる倉石教諭